土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	一般県道　上入江吉田線　道路災害防除事業に伴う測量設計業務委託（箱型函渠）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　橋梁・高架

ボーリング名	Bor.No.1	調査位置	広島県安芸高田市吉田町吉田地内			北緯	34° 40’ 01.6900″
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	令和4年11月28日～ 令和4年11月29日	東経	132° 42’ 43.4400″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 200.07m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	D1-B（東邦地下工機）
総削孔長	7.00m								エンジン	NFD13（ヤンマー）	ポンプ	BG-3C（東邦地下工機）

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度—N値図	N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1	199.32	0.75		礫混じり砂		黄褐			マサ土による埋土。 表層5cm厚で砕石。以深、細～中砂が主体。 φ10～50mmの亜角礫を含む。				1.15	1	1	1	3						
	198.57	1.50		シルト質粘土		暗褐		rc2	旧耕作土。 粘性は弱い。含水量中位。				1.50	150			350						
2	197.37	2.70		有機質粘土		黒褐		rc2	有機質土を多く含む粘土。 指で強く押すと跡が残る程度の硬さ。 含水量は中位。			3	2.15	1	1	1	3						
3	197.07	3.00		砂		暗灰黄褐灰			中砂優勢。全体にシルト分を少量混入する。	11/28 2.70		3	2.45				300						
				砂礫		褐～淡黄灰		rd4	φ5～400mmの亜角礫を密に混入する。 礫間充填物は細～中砂が主体。			21	3.15	6	7	8	21						
4	195.80	4.27											3.45				300						
												50以上	4.05	19	25	6	50	220					
5									φ10～30mmの亜角礫が主体。 コア長5～10cmの玉石を密に混入する。 礫種は流紋岩礫や花崗斑岩礫で硬質。				4.27			20	220						
												50以上	5.05	17	23	10	50	250					
													5.30			50	250						11/28
6				玉石混じり砂礫		淡灰		rd5	礫間充填物は粗砂が主体。 非常によく締まっている。			50以上	6.05	18	17	15	50	280					
													6.33			80	280						
7	193.07	7.00										50以上	7.00	23	22	5	50	220					11/29
													7.22			20	220						
8																							
9																							
10																							
11																							
12																							